



**中橋 友子**  
議員  
(日本共産党  
幕別町議員団)

**問**

新政権が打ち出した「2%の物価上昇」政策は、所得が減り続けている町民の暮らしをさらに厳しくしている。

デフレ不況打開のためには雇用の安定と、賃金の引き上げが待ったなしの課題であるが、低賃金と非正規雇用者は増え続けている。

幕別町でも非正規職員は増大しており、「官制ワーキングプア」と言われる現状を打開しなければならぬ。

一般職をはじめ、保育士、保健師など低賃金で長期に責任ある仕事についている臨時職員も多く、現状と改善に向ける姿勢について伺う。

- (1)町の非正規職員の現状。
- ①人数は。
- ②職種ごとの平均賃金と正職員との格差。
- (2)委託事業従事者の現状。
- ①委託事業従事者の正職員と非正規職員の人数。

(1)②正職員と非正規職員の賃金比較

職員の区分		平均月額
正職員	一般事務職員	30万6000円
	保育士	34万2000円
	保健師	30万円
非正規職員	一般事務補助職員	12万7000円
	臨時保育士	14万2000円
	嘱託保健師	21万3000円

**問**

**町の非正規労働者の雇用実態と安定雇用に向けた取り組みについて**  
**ワーキングプア対策について引き続き調査・研究を進めていきたい**

②男女平均賃金と正規、非正規の格差。

③各種保険の加入状況。

④最低賃金遵守等の指導。

(3)官制ワーキングプアを無くす取り組みについて伺う。

**町長** (1)平成24年4月1日現在、非正規職員は290人である。

(2)委託事業従事者の現状 (人数と賃金比較)

①②職員区分別		
正職員	14人	11万5000円
非正規職員	69人	7万9000円
②男女別		
男性	47人	9万5000円
女性	36人	7万1000円

- (2)③労災保険は100%、雇用保険は78%、健康保険は30%である。
- ④適正な賃金の支払いについてお願いを記載した文書を町の指名業者に配付している。
- (3)最低制限価格について、平成23年度から業務委託に係る設定率の引き上げを行った。平成25年度からの入札では、落札率も前回より上昇しており、委託業務従事者の方の雇用安定に期待をしている。

**問**

孤立死が後を絶たず福祉ネットワークの充実が求められている。

- (1)町の孤立死の現状。
- (2)ライフライン停止は。
- (3)提供事業者との情報交換。
- (4)福祉ネットワークの推進。

**町長**

(1)平成23年1月に当時75歳で生活保護を受給している单身男性の事例が1件発生している。  
(2)福祉課と連携をとり、生活保護受給世帯や生活困窮世帯に対しての給水停止は行っていない。  
(3)提供事業者からの情報提供の仕組みがまだ明確になっていないが今後調査していきたい。  
(4)民生委員、公区などの地域住民のほか各種事業者が連携して、日常的な声かけや訪問、電気の消灯や郵便受けの確認などの見守り活動のほか、高齢者がよく訪れる内科・歯科医院、商店、銀行、郵便局等を「見守り協力機関」として登録をお願いし、異変を感じた時に通報等をお願いするよう高齢者の見守りに関するネットワークの構築について検討を進めている。

**問**

**孤立死を生まない町づくり**  
**見守りに関するネットワークの構築が重要である**